

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○雇用支援の充実

労働環境対策事業

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 雇用支援の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の実現を図りながら、雇用対策の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・ 雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・ 求職者向け就労支援事業を行った。
- ・ 勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・ 若者・女性の就労支援に向けた事業を行った。
- ・ 企業と就労希望者とのマッチングを推進した。
- ・ 労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,272	6,249	4,576		1,673
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		2,117	1,036
9節	事務補助嘱託員費用弁償		288	69
11節	消耗品費		65	51
12節	就職対策ミニ講座等周知広告料		700	613
13節	就労困難若年者支援業務委託料		492	492
	就労困難若年者家族カウンセリング業務委託料		393	327
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料		144	132
	労働相談業務委託料		327	308
	就職対策ミニ講座業務委託料		445	365
	鎌倉の企業就職面接会会場設営業務委託料		120	119
	鎌倉の企業就職面接会ちらし及びポスター作成業務委託料		100	92
14節	鎌倉の企業就職面接会等会場使用料		182	73
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金		116	116
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)		300	300
	県駐労福祉センター運営費補助金		33	33
	労働祭補助金		300	300
	鎌倉地区勤労者体育大会補助金		150	150
<主な特定財源>				
	・国県支出金			150

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 勤労者福祉
 施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,830	30,853	30,853		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
19節	中小企業退職金共済掛金補助金	300	323
	三浦半島地域労働者福祉協議会補助金	530	530
21節	中央労働金庫預託金	30,000	30,000

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(31.4~2.3)		貸出残高(2.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	4	9,700,000	42	41,887,038

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,178	21,178	21,057		121

< 支出内訳 >

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

当初予算額 支出済額

21,178 21,057

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○技能振興の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 技能振興の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500	500	337		163
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 10人		30	30
8節	技能者表彰記念品等報償費		170	20
11節	消耗品費		30	17
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	270

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民生活部商工課(勤労者福祉担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	20,141	17,571
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 2人	9,165	8,345
・ 3節 職員手当等	7,320	6,270
地域手当	1,375	1,252
通勤手当	394	328
超過勤務手当	1,142	656
休日給	57	0
期末勤勉手当	4,116	3,799
住居手当	236	235
・ 4節 共済費	3,656	2,956
市町村職員共済組合負担金		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,814	12,875	11,217		1,658
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 農業委員会委員報酬 13人			12,394	9,239
農業委員選定委員会委員報酬			156	0
8節 収穫まつり入賞記念品			5	5
9節 農業委員費用弁償			39	13
事務局職員普通旅費			60	29
11節 消耗品費			400	230
印刷製本費			1	0
農機具等修繕料			100	0
13節 農地管理システム地図データ変換業務委託料			108	108
14節 農地管理システム使用料			1,444	1,431
神奈川県農業委員大会マイクロバス借上料			55	54
19節 農業委員会職員事務研究会負担金			8	10
遊休農地解消対策協議会負担金			200	98
<主な特定財源>				
・国県支出金				4,257

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 市民生活部農水課(農水担当)
 農業委員会事務局

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	65,947	71,196
・ 2節 給料 一般職	30,271	32,459
一般職職員 8人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	24,504	26,837
扶養手当	964	1,022
地域手当	4,793	5,170
通勤手当	633	559
超過勤務手当	1,034	2,244
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	14,043	14,659
住居手当	1,570	1,979
管理職員特別勤務手当	0	17
児童手当	480	200
・ 4節 共済費	11,172	11,900
市町村職員共済組合負担金	11,172	11,482
社会保険料	0	418

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

農水課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・鎌倉農業振興地域整備計画に基づき、関谷地区の農道整備に向けて土質調査を行った。
- ・令和元年台風第15号・第19号により農業用施設に被害を受けた農業者に対し、国・県と協調して復旧及び撤去等に係る費用への補助金交付を進めていたが、年度内に業務の完了ができなため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,846	25,808	9,131	12,894	3,783
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	鎌倉市農業委員選定委員会委員報酬	156	0	
7節	臨時的任用職員賃金	857	615	
8節	鎌倉市農業振興協議会委員報償費	72	0	
	手広川水路清掃作業等報償費	93	77	
11節	消耗品費	215	41	
13節	地産地消推進パンフレット作成委託料	107	0	
	土質調査業務委託料	5,200	5,711	
19節	農業関係団体負担金	196	237	
	農業振興事業費補助金	2,450	2,450	
	新規就農者確保支援事業交付金	1,500	0	
	鎌倉市経営体育成支援事業補助金(翌年度への事故繰越し)	0	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,640

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業 【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,035	1,035	1,010		25

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費	504	504
11節	燃料費	2	0
13節	市民農園草刈等業務委託料	271	249
	市民農園區画整備業務委託料	258	257

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合等への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。
- ・ 鎌倉の水産業に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、鎌倉市水産業振興計画の策定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,998	3,168	2,530		638
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬 8人		340	280
11節	消耗品費		118	68
19節	神奈川県水産振興促進協会等負担金		540	540
	漁業施設等災害支援金		500	0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		1,000	1,000
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	500
	水産多面的機能発揮対策事業補助金		0	142

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

農水課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画及び機能保全計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務など漁港区域内海岸の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,588	7,588	7,228		360
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	漁港施設等維持修繕料		500	1,468
	転落防止柵等維持修繕料		461	461
	投光器LED化修繕料		818	1,292
	照明灯LED化修繕料		933	933
	漁具保管修理施設屋根等修繕料		2,586	0
	U型側溝等修繕料		0	735
13節	腰越海岸海浜整地業務委託料		2,240	2,240
	漁港区域内廃棄物処理業務委託料		50	0
	漁具保管修理施設屋根撤去業務委託料		0	99

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁港対策事業

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁業支援施設整備について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの当面の支援策を実施するため。

効果 当面の支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁業支援施設整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、水産庁等関係者との協議を進めるとともに、地元住民との合意形成に向けて資料作成等を進めていたが、年度内に業務の完了ができないため、翌年度への繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,697	4,697	0	4,411	286

<支出内訳>

13節 漁業支援施設整備協議資料作成等支援業務委託料
(翌年度への事故繰越し)

当初予算額 4,697
支出済額 0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ 鎌倉市商工業振興計画推進委員会を開催し鎌倉市商工業振興計画の策定を進めた。
- ・ 上田市及び足利市特産品を一同に集め、物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。(萩市は台風により不参加)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,254	3,254	2,729		525
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,117
	鎌倉市商工業振興計画推進委員会委員報酬 7人		248	134
9節	事務補助嘱託員費用弁償		288	139
11節	消耗品費		113	93
13節	姉妹都市物産展設営等委託料		426	198
	姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料		62	0
	姉妹都市物産展開催に係るチラシ作成等業務委託料		0	48

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共創計画部市民相談課(消費生活担当)

市民生活部商工課(商工担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	55,901	65,327
・ 2節 給料 一般職	24,693	31,431
一般職職員 8人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	21,511	22,354
扶養手当	407	361
地域手当	3,914	4,917
通勤手当	793	601
超過勤務手当	2,616	898
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	10,946	13,469
住居手当	1,428	821
児童手当	420	300
・ 4節 共済費	9,697	11,542
市町村職員共済組合負担金	8,446	10,804
社会保険料	1,228	715
雇用保険料	23	23

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。
- ・ 令和元年台風15号により被害を受けた市内中小企業者に対し、事業の再建に取り組む経費の一部を補助するための要綱を制定したが、執行はなかったため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
507,463	530,381	508,752	21,568	61
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
19節	信用保証料補助金		6,752	8,102
	経営安定資金融資利子補給金		711	650
	中小企業・小規模企業者復旧支援事業費補助金 (翌年度への繰越明許費)		0	0
21節	中小企業融資預託金		500,000	500,000
	預託先 4金融機関			
	融資件数 116件			
	融資金額 576,100千円			

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

・商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	商工会議所運営費補助金		6,935	6,935
	商工業振興事業等補助金		553	553
	中小企業経営支援事業補助金		7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 専門家の助言を必要とする商店街団体に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,996	13,996	12,513		1,483
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	商店街アドバイザー謝礼		200	25
19節	商店街連合会補助金		1,710	1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金		4,150	4,070
	商店街活性化事業費補助金		4,000	3,233
	商店街共同施設設置費補助金		3,936	3,475

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業 【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部に対する助成については、申請はあったが助成対象の事業がなかった。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の事務局として、テレワークの普及啓発を図った。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・資生堂鎌倉工場跡地のうち、市への寄附を受けた土地について、産業用地としての活用に向けた不動産鑑定評価を行った。
- ・神奈川県企業誘致促進協議会に参加し、企業誘致活動を促進していくための情報の収集及び発信を行った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業に要する経費の一部に対する助成については、申請がなかった。
- ・中小企業者が実施する展示会等出展事業などの経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・企業が市内でシェアードオフィスを整備する経費の一部を助成した。
- ・前年度からの繰越分を含め、プレミアム付商品券事業及びびかまくらプレミアム商品券事業を実施した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,779	840,864	320,720		520,144
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 4人		62	42
3節	超過勤務手当		0	1,130
7節	臨時的任用職員賃金		0	2,529
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		50	50
	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会講師謝礼		120	30
9節	普通旅費		0	0
11節	消耗品費		0	891
12節	プレミアム付商品券換金手数料		0	2,166
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		796	796
	資生堂鎌倉工場跡地寄附予定地不動産鑑定委託料		500	418
	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会広報委託料		500	198
	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会イベント開催委託料		500	86

	プレミアム付商品券コールセンター等派遣業務委託料	0	8,663
	プレミアム付商品券業務委託料	0	37,105
	プレミアム付商品券システム構築等業務委託料 (前年度からの繰越明許費含む)	0	23,941
	プレミアム付商品券LAN敷設等業務委託料	0	1,335
14節	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会会場使用料等	600	108
	プレミアム付商品券備品賃借料	0	591
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金	41	41
	プレミアム付商品券換金代金負担金	0	196,871
	商工業元気アップ事業費補助金	2,000	0
	経営アドバイザー派遣事業補助金	110	8
	環境共生施設整備費補助金	6,000	0
	経営基盤強化事業費補助金	1,500	366
	企業立地整備費等補助金	10,000	3,678
	かまくらプレミアム商品券補助金	0	39,677

<主な特定財源>

・国県支出金

131,379

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400	400	400		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 公衆浴場設備整備費補助金

400

400

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・平成28年度に作成した鎌倉彫リーフレットについて、軽微な内容修正を含めた増刷を行った。
- ・鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,609	4,609	4,409		200
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	鎌倉彫リーフレット印刷製本費		286	193
	鎌倉彫振興事業所光熱水費		500	370
	鎌倉彫振興事業所維持修繕料		492	524
12節	鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料		24	24
13節	鎌倉彫振興事業所警備委託料		116	115
19節	伝統的工芸品産業振興協会負担金		50	50
	伝統鎌倉彫振興事業補助金		3,141	3,133

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○消費者施策の推進

消費者自立支援事業

【 市民相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 消費者対策

施策の方針 消費者施策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・ 消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。なお、消費生活紛争調停委員会の調停に付する案件はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,542	12,542	11,982		560
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消費生活相談員報酬 7人		10,324	10,007
	消費生活委員会委員報酬 8人		164	154
	消費生活紛争調停委員会委員報酬		30	0
8節	移動教室、講座講師等謝礼		160	120
9節	消費生活相談員費用弁償		983	853
11節	消耗品費		194	183
	印刷製本費		307	305
12節	電信料		38	37
13節	消費生活相談員助言委託料		300	297
19節	消費生活相談員研修負担金		42	26
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			1,230

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、パンフレットの作成等広域観光の情報発信や情報交換等を行った。
- ・ 観光施策の推進に必要な経費に充てるため、寄附金による収入確保事業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,890	6,890	5,672		1,218
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 3人		3,176	3,012
	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 9人		100	74
7節	臨時的任用職員賃金		794	610
8節	観光基本計画推進委員会委員報償費		0	27
9節	事務補助嘱託員費用弁償		432	53
11節	消耗品費		298	225
12節	運搬料		0	1
13節	観光施設整備事業寄附PR業務委託料		220	110
	観光振興シンポジウム等開催業務委託料		300	0
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金		1,000	1,000
	神奈川県観光振興対策協議会等負担金		570	560

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民生活部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	56,118	52,918
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 6人	21,904	20,890
・ 3節 職員手当等	24,592	23,324
扶養手当	1,265	903
地域手当	3,641	3,434
通勤手当	449	452
超過勤務手当	5,023	5,604
休日給	689	106
管理職手当	1,102	1,102
期末勤勉手当	10,367	9,790
住居手当	1,096	1,273
児童手当	960	660
・ 4節 共済費	9,622	8,704
市町村職員共済組合負担金	9,622	8,692
雇用保険料	0	12

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光都市としての質の向上

観光振興事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光都市としての質の向上

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・かまくらみどころ散歩や観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。
- ・外国人観光客の増加への対策として、外国語ガイドの育成を支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,595	10,572	9,166		1,406
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	印刷製本費		3,491	2,806
13節	鎌倉市観光情報誌作成業務委託料		1,898	1,887
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料		1,497	1,393
	外国語版パンフレット作成業務委託料		2,700	1,523
	鎌倉市観光情報パンフレット作成業務委託料		2,043	0
	鎌倉市公共の場所におけるマナーの向上に関する条例周知啓発物作成業務委託料		0	197
19節	外国語ガイド研修負担金		917	311
	観光情報ツイート事業等負担金		1,049	1,049

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光案内所運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,683	26,683	25,828		855
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	電信料		120	96
13節	観光案内所業務委託料		24,478	23,667
14節	観光案内所ブース賃借料		1,962	1,962
	観光案内所デジタルサイネージ使用料		63	63
19節	観光案内所電気使用料負担金		60	40

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光施設整備事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの改修・修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・ハイキングコース復旧業務については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、外国人観光客の利便性向上を目指し、屋内型Wi-Fi接続設備の設置補助や屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,113	30,112	16,710	9,867	3,535
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	101	27	
	光熱水費	1,300	1,085	
	公衆トイレ等維持修繕料	5,047	5,200	
12節	電信料	838	837	
	備品倉庫消防設備点検手数料	14	13	
13節	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料	5,047	4,643	
	観光案内板等作成委託料	2,059	1,195	
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料	863	863	
	屋外ライブカメラ設置委託料	215	0	
	公衆トイレし尿処理委託料	1,700	770	
	ハイキングコース復旧業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料	1,113	1,112	
	屋外ライブカメラ等賃借料	66	235	
19節	公衆トイレ電気・水道使用料等負担金	750	530	
	公衆トイレ建設工事費等補助金	30,000	0	
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金	1,000	200	

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイク等に負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,291	14,789	14,789		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
19節	俳句&ハイク事業負担金	486	486
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,045	1,045
	主要観光行事安全対策負担金	10,760	10,760
	第71回鎌倉花火大会安全対策負担金(追加)	0	2,498

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光協会支援事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉の観光に係る様々な情報を効果的に発信するため、観光ウェブサイトの運営を連携して行い、観光客の利便性の向上を図った。
- ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,645	55,645	55,005		640
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	観光ホームページ運営負担金		2,426	0
	観光情報等発信業務負担金		1,440	0
	インターネットを活用した情報発信事業負担金		0	3,226
	鎌倉市観光協会運営費等補助金		51,779	51,779

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

海水浴場運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 海水浴場開設に必要な施設・設備を整備した。
- ・ なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・ 安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
102,425	98,716	96,812		1,904
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		266	117
	燃料費		16	0
	印刷製本費		100	100
	光熱水費		15	11
12節	電信料		137	103
13節	海水浴場監視業務等委託料		32,254	32,211
	砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料		6,066	6,066
	放送設備及び放送塔設置委託料		4,209	4,209
	コースロープ設置及び撤去業務委託料		1,429	1,429
	仮設木橋設置等委託料		1,296	1,404
	防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料		897	897
	海水浴場水道管敷設等委託料		637	605
	仮設木橋材料保管・運搬業務委託料		665	302
	看板作成委託料		500	0
	海水浴場開き式会場設営等委託料		162	153
	海水浴場関連廃棄物処理委託料		90	108
	海水浴場等警備業務委託料		10,984	10,789
	海水浴場ごみ処理委託料		14,864	0
	海水浴場ごみ箱のごみ資源化回収業務委託料		0	4,858
	海水浴場ごみ箱のごみ収集・運搬業務委託料		0	8,583
	海水浴場閉場に伴うごみ回収業務委託料		0	99
	海水浴場水質調査業務委託料		83	0
	ごみ箱設置業務委託料		4,471	3,564
	ごみ箱収集運搬・保管業務委託料		106	100
	海岸整地業務委託料		1,188	497
	スポーツビーチ運営業務委託料		680	680

	<u>スポーツビーチ設営業務委託料</u>	1,560	1,026
	<u>スポーツビーチ水道管敷設等業務委託料</u>	255	74
	<u>スポーツビーチ整地業務委託料</u>	500	0
	<u>バリアフリービーチ対応要員委託料</u>	452	451
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料	17,064	17,064
	<u>スポーツビーチ管理棟賃借料</u>	999	998
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金	480	314

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-8)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
101,724	125,784	112,854		12,930	
<支出内訳>				当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,087	
9節	事務補助嘱託員費用弁償		288	110	
11節	消耗品費		100	100	
19節	急傾斜地防災工事負担金		64,940	53,213	
	神奈川県治水砂防協会等負担金		229	229	
	既成宅地等防災工事費補助金		34,000	57,115	
	既成宅地等防災工事費利子補給金		50	0	

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,664	5,664	4,960		704

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金	2,289	2,078
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	520	520
	放射性物質測定装置備品修繕料	454	0
13節	放射性物質測定装置点検委託料	363	363
	放射性物質測定装置データ処理部更新委託料	2,038	1,999

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道路・水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,903	85,903	56,600		29,303
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 3人		4,234	3,175
7節	土地境界確定図交付事務等臨時的任用職員賃金		1,290	1,218
9節	事務補助嘱託員費用弁償		576	133
11節	消耗品費		954	954
13節	境界確定等測量・調査業務委託料		45,363	24,155
	境界立会42回、打合せ協議2回、境界点測量332点、石標埋設45本 金属標埋設47枚、4級基準点測量(伐採なし)1,812.5m及び159点 同(伐採あり)147.9m及び9点、確定図作成59,377.7㎡外			
	狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料		18,136	14,726
	境界立会31回、打合せ協議0回、境界点測量130点、石標埋設1本 金属標埋設23枚、4級基準点測量(伐採なし)857.2m及び76点 同(伐採あり)0m及び0点、確定図作成34,034.8㎡外			
14節	電子複写機賃借料		349	298
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費		15,000	11,941
	道水路用地購入費		1	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,226

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路・水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図システムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・小町及び大町の各一部外の地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
94,542	93,279	82,579		10,700
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,058
7節	法定外公共物所管事務等臨時的任用職員賃金		2,753	2,594
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	0
11節	消耗品費		700	700
13節	境界杭復元等業務委託料		42,822	31,077
	4級基準点測量3,880.3m及び264点、石標埋設復元83本			
	金属標埋設復元94枚、金鋸埋設復元441本			
	境界点復元測量687点、検査探索2,078点、地形測量9,795.3㎡外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		11,550	11,550
	基準点機能回復測量業務委託料		1,213	1,012
	土地境界確定図管理システム保守業務委託料		1,228	1,228
	土地境界確定図管理システム端末OSアップデート業務委託料		0	2,255
	地籍調査事業測量等業務委託料		27,864	27,183
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,676	3,652
18節	マップロッカー購入費		1,533	270
<主な特定財源>				
	・国県支出金			20,322

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
123,116	123,116	114,533		8,583
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,058
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	71
11節	消耗品費		500	500
	燃料費		1	0
	印刷製本費		0	146
	光熱水費		8,270	8,565
	道路管理施設維持修繕料		11,629	10,556
	内訳			
	大船駅西口エスカレーター標準修理移動手摺取替業務			3,520
	鎌倉駅地下道東口側タイル浮き修繕業務 外23件			7,036
12節	電信料		824	560
	路上放置自動車リサイクル等手数料		15	0
	道路賠償補償保険料		854	853
13節	鎌倉駅通抜地下道清掃業務委託料		288	288
	看板作成業務委託料		194	66
	道路維持業務委託料		10,000	7,349
	大船駅監視設備保守管理業務委託料		660	660
	大船駅エレベーター等設備保守管理業務委託料		9,363	9,363
	大船駅ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料		4,013	3,364
	大船駅管理施設警備監視業務委託料		16,719	15,243
	鎌倉駅通抜地下道排水ポンプ・ディーゼルエンジン保守点検業務委託料		51	50
	鎌倉駅通抜地下道排水設備ポンプ制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料		148	148
	路上放置自動車処理業務委託料		10	0
	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料		13,773	12,613
	鎌倉駅西口駅前広場周辺清掃業務委託料		202	198
14節	大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料		1,542	1,542

	大船駅西口公共広場用地賃借料	40,639	40,639
19節	神奈川県道路利用者会議等負担金	218	213
22節	道路事故賠償金	2,000	488

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,785	27,036	25,191		1,845
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	市内街路照明灯電気料	15,341	16,452	
	街路照明灯維持修繕料	5,542	4,171	
13節	街路照明灯設置業務委託料	291	0	
14節	LED街路照明灯賃借料	4,611	4,568	

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

行政経営部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)
 防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)
 都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課
 都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	800,245	757,670
・ 2節 給料 一般職	365,956	346,979
一般職職員 89人		
短時間勤務職員 6人		
・ 3節 職員手当等	300,867	283,449
扶養手当	13,405	12,048
地域手当	58,669	55,658
通勤手当	9,699	8,924
超過勤務手当	20,199	17,034
休日給	803	36
管理職手当	11,748	11,863
特殊勤務手当	50	1
期末勤勉手当	166,145	159,085
住居手当	14,744	14,549
管理職員特別勤務手当	0	111
児童手当	5,405	4,140
・ 4節 共済費	133,422	127,242
市町村職員共済組合負担金	130,122	124,189
社会保険料	3,062	2,870
雇用保険料	238	183

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務 【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,615	1,585	1,571		14
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		115	101
13節	道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料		0	809
14節	道路施設維持管理共同システム使用料		2,500	661

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
 分野 行財政運営
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
166,639	168,639	132,922		35,717
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	補修用消耗品費		1,513	3,394
	作業用車両燃料費		2,260	1,349
	光熱水費		134	94
	道路管理施設等維持修繕料		35,792	17,788
	資材置場維持修繕料		100	0
	消耗品維持修繕料		80	12
	備品修繕料		200	168
	作業用車両修繕料		4,165	4,409
	医薬材料費		38	37
12節	電信料		616	290
	消防設備保守点検手数料		22	20
13節	上町屋資材置場警備委託料		101	101
	残土処分委託料		4,471	4,788
	カーブミラー設置業務委託料		4,818	1,025
	高圧洗浄による排水管渠等浚渫清掃業務委託料		11,279	9,794
	道路側溝等浚渫汚泥運搬処分業務委託料		6,703	4,179
	道路・河川清掃等業務委託料		54,764	45,063
14節	維持補修用重機賃借料		4,062	5,007
	FAX付コピー機賃借料		128	39
16節	補修用原材料費		35,000	34,994
19節	法定講習負担金		8	8
27節	自動車重量税		385	363
*補修用原材料費内訳				
	アスファルト合材	716.6 t	17,279 千円	
	カーブミラー部材	90 面	5,250 千円	
	グレーチング蓋	205 枚	1,279 千円	
	スチール透水蓋	215 枚	3,366 千円	
	U型側溝蓋等	431 枚	1,605 千円	
	生コンクリート外	1 式	6,215 千円	

*補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工	521 m ²
	アスファルト舗装打換工	312 m ²
	パッチング	1,281 m ²
	カーブミラー新設・補修工	253 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,583	10,583	10,398		185
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	設計業務等補助嘱託員報酬 3人		4,320	4,308
9節	設計業務等補助嘱託員費用弁償		294	240
11節	消耗品費		1,719	1,719
	印刷製本費		82	10
14節	建築積算システム機器賃借料		2,407	2,394
	営繕積算システム賃借料		1,602	1,617
	電子複写機賃借料		159	110

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-9)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や防災ベッド等の設置を行った場合の費用を補助した。
- ・ 危険ブロック塀等の撤去及び撤去後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に津波浸水想定区域内を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用を補助した。
- ・ 耐震改修促進計画に位置付けられた、耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用に対する補助については、申請がなく実施できなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
84,694	32,074	26,640		5,434
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	危険ブロック塀等指導嘱託員報酬 2人		3,456	3,456
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	17
9節	危険ブロック塀等指導嘱託員費用弁償		288	219
11節	消耗品費		200	168
	印刷製本費		27	24
13節	耐震相談業務委託料		351	289
19節	現地耐震診断補助金		2,800	1,350
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		12,800	700
	危険ブロック塀等対策事業補助金		51,720	18,962
	マンション耐震診断補助金		1,500	1,155
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		10,750	0
	防災ベッド等設置事業費補助金		700	300
<主な特定財源>				
	・国県支出金			12,859

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,298	6,298	6,011		287
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人		5,177	5,084
9節	事務補助嘱託員費用弁償		573	380
11節	消耗品費		538	537
19節	神奈川県八市開発許可研究協議会負担金		10	10

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・租税特別措置法に基づく優良宅地の認定は、申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357	357	353		4
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 一般文具等消耗品費			202	198
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費			155	155

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,983	11,983	9,373		2,610
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	建築審査会委員報酬 3人		288	84
	建築審査会専門委員報酬		128	0
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,095
7節	臨時的任用職員賃金		536	476
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		318	45
11節	消耗品費		422	421
	印刷製本費		55	45
12節	特定行政庁団体賠償責任保険料		50	50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料		5,660	4,493
	長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料		330	0
	建築審査会等会議録作成業務委託料		494	103
14節	建築行政共用データベースシステム利用料		1,123	1,123
	公会堂等使用料		20	0
19節	神奈川建築コンクール負担金		105	105
	神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金		156	156
	日本建築行政会議等負担金		181	177

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件名	件数
建築確認	48
計画通知	10
建築許可	121
道路位置指定	1
長期優良住宅認定	213
低炭素建築物認定	10

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・ 土木情報総合管理システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,144	38,144	37,369		775
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		447	789
	印刷製本費		16	0
	備品修繕料		50	49
12節	筆耕翻訳料		253	70
13節	土木情報総合管理システム保守委託料		7,935	7,935
	工事資材単価調査業務委託料		366	12
	土木情報総合管理システム改元対応委託料		2,376	2,376
14節	土木情報総合管理システム機器賃借料		22,184	21,638
	市町村システム使用料		3,924	3,924
	電子複写機賃借料		593	576

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 防災安全部市民安全課
 都市整備部道路課(整備担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	127,527	122,133
・ 2節 給料 一般職	55,419	53,316
一般職職員 15人		
短時間勤務職員 3人		
・ 3節 職員手当等	50,542	48,132
扶養手当	1,671	1,945
地域手当	8,712	8,541
通勤手当	1,430	1,329
超過勤務手当	9,541	8,966
休日給	764	131
管理職手当	987	822
期末勤勉手当	23,547	23,088
住居手当	2,695	2,010
児童手当	1,195	1,300
・ 4節 共済費	21,566	20,685
市町村職員共済組合負担金	20,666	19,641
社会保険料	851	997
雇用保険料	49	47

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通安全意識の高揚

交通安全対策事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通安全意識の高揚

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図った。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,229	25,229	23,381		1,848
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通安全教育指導員報酬 3人		4,620	4,609
8節	自転車教室指導員謝礼		512	364
9節	交通安全教育指導員費用弁償		413	406
11節	消耗品費		483	465
12節	交通安全教室損害保険料		30	30
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,500	6,424
	富士見町駅下交通誘導業務委託料		1,146	1,117
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		11,200	9,646
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○駐輪対策の推進

放置自転車防止事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 駐輪対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図った。

【 事業の内容 】

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・歩行者の安全な通行を確保するため、放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の警備を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,233	53,427	50,877		2,550
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人		8,998	8,773
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	1,147
9節	放置自転車等返還業務嘱託員等費用弁償		441	296
11節	消耗品費		99	81
	印刷製本費		172	99
	光熱水費		374	329
	放置自転車等保管場所等維持修繕料		409	219
12節	電信料		80	72
	放置自転車等賠償責任保険料		60	59
13節	放置自転車等保管場所警備業務委託料(鎌倉・大船)		174	175
	放置自転車等対策関連設備設置等業務委託料		500	405
	放置自転車等防止対策業務委託料		40,843	31,463
	北鎌倉サイクルパーク測量業務委託料		498	496
	大船駅東口自転車等駐車場老朽化調査業務委託料		0	2,381
	自転車等放置禁止区域等看板修繕業務委託料		0	2,032
	大船駅西口代替第2自転車等駐車場等解体処分業務委託料		0	447
14節	稲村カ崎自転車等駐車場土地使用料		178	177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料		2,187	2,187
16節	駐輪場設置及び修繕用原材料費		103	39

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,711	6,711	5,938		773
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料 (塗装延長66.5m、面積46.55㎡)		470	396
	カラー舗装等維持修繕料 (薄層カラー舗装115.65㎡、区画線延長15m)		1,741	1,087
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線延長6,870.36m、文字記号延長1,739.09m)		4,500	4,455

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業	【 道路課 】
-------------------	---------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- ・市道038-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。
- ・市道053-000号線の交通安全対策施設工事(歩道改修)を行った。
- ・市道027-000号線の交通安全施設整備工事(歩道整備)は年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度から繰越明許費により、市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道修繕)及び市道027-000号線の交通安全施設整備工事(歩道整備)を行った。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,910	42,643	27,805	8,822	6,016
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
15節 交通安全対策施設工事請負費			25,619	20,184
内訳				
浄明寺六丁目2番先(市道038-000号線)			8,294	7,358
歩道段差等改善 10箇所				
大船三丁目17番先(市道213-010号線)歩道段差等改善			8,294	0
岡本一丁目5番先(市道053-000号線)歩道改修			9,031	8,126
アスファルト舗装面積55.4㎡、排水構造物工延長62.4m				
西鎌倉一丁目19番先(市道055-000号線)歩道修繕			0	4,700
(前年度からの繰越明許費)アスファルト舗装面積309㎡				
交通安全施設整備工事請負費			16,291	7,621
内訳				
扇ガ谷一丁目13番先(市道008-000号線)歩道改修			7,469	0
常盤863番地先(市道027-000号線)歩道整備			8,822	0
(翌年度への繰越明許費)				
常盤863番地先(市道027-000号線)歩道整備			0	7,621
(前年度からの繰越明許費)				
アスファルト舗装面積66.1㎡、排水構造物工延長46.3m				
<主な特定財源>				
・国県支出金				2,546

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。
- ・市道068-000号線外、市道201-016号線外、市道047-000号線、市道205-166号線外、市道055-000号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・深沢クリーンセンター隣接地の法面防災工事を行った。
- ・市道050-018号線外及び市道015-000号線の道路維持修繕工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・倒木の撤去等を行い、通行の安全を確保した。
- ・小袋谷歩道橋の修繕工事に必要となる設計業務を行った。
- ・横断歩道橋3橋の点検調査業務を行った。
- ・路面下空洞調査及び路面下空洞追跡調査を行った。
- ・トンネル長寿命化修繕計画策定業務及び大船駅西口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画策定業務を行った。
- ・谷戸ノ前隧道のトンネル修繕設計業務を行ったが、台亀井隧道及び山ノ内宮下小路隧道の修繕設計は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・深沢支所周辺道路の歩道に視覚障害者誘導用ブロックを設置した。
- ・岩瀬隧道通行止めの際に通学路の迂回路に設置していた仮設照明灯を撤去した。
- ・小袋谷歩道橋の老朽化に伴い仮設通路を設置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
390,609	359,196	220,359	115,731	23,106
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	道路維持修繕料		10,200	8,874
	内訳			
	坂ノ下18番先(市道010-000号線)(既存金網復元等)			1,004
	雪ノ下一丁目7番先(市道032-000号線)(側溝修繕等)			864
	今泉台三丁目18番1号先(市道061-000号線)(陥没復旧)			537
	梶原五丁目13番13号先(市道046-037号線)(陥没復旧)			3,584
	今泉台四丁目20番先(市道061-038号線)(インターロッキング舗装復旧)			594
	台二丁目16番先(市道202-053号線)(張出歩道舗装補修)			975
	今泉台二丁目14番先(市道061-034号線)(階段補修)外3件			1,316
13節	崩落土砂処分等業務委託料		12,200	30,027
	内訳			
	稲村ガ崎一丁目5番15号先(市道010-019号線)(倒木等処分)			1,231
	山ノ内1517番先(市道008-034号線)(倒木等処分)			194

	梶原五丁目8番8号先(市道046-059号線)(倒木等処分)	1,069	
	山ノ内931番先(市道046-000号線)(倒木等処分)	2,826	
	山ノ内931番先(市道046-000号線)(板柵土留等設置)	3,366	
	笛田三丁目39番先外(市道043-037号線)(倒木等処分)	18,623	
	大町一丁目18番2先(市道001-039号線)(支障木撤去運搬処分)	645	
	梶原五丁目2番先(市道046-027号線)(倒木等処分)	1,820	
	岡本一丁目16番7号先(市道208-001号線)(倒木等処分)	253	
	十二所580番地先(市道039-007号線)	0	
	(翌年度への繰越明許費)(倒木等処分)		
	横断歩道橋修繕設計業務委託料	12,100	11,990
	横断歩道橋点検調査業務委託料	3,784	2,815
	北鎌倉隧道安全対策検討業務委託料	18,128	0
	路面下空洞調査業務委託料	5,412	3,370
	路面下空洞追跡調査業務委託料	4,851	3,594
	トンネル長寿命化修繕計画策定業務委託料	3,410	2,845
	トンネル修繕設計等業務委託料(翌年度への繰越明許費)	44,517	14,091
	大船駅西口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画策定業務委託料	1,885	1,504
	視覚障害者誘導用点字樹脂プレート設置業務委託料	0	216
	通学路仮設照明灯撤去業務委託料	0	100
	小袋谷歩道橋仮設通路設置業務委託料	0	2,882
14節	工事用仮駐車場賃借料	450	890
15節	道路維持修繕工事請負費	251,041	122,063
	内訳		
	岡本1500番地先外(市道050-018号線外)舗装切削等	35,035	0
	(翌年度への繰越明許費)		
	舗装工 延長37.6m、面積321.7㎡、石積修繕工一式		
	大船五丁目1番先外(市道068-000号線外)舗装切削	31,806	18,636
	舗装工 延長341.7m、面積1,635.1㎡		
	由比ガ浜二丁目3番先外(市道201-016号線外)舗装打換	42,747	25,337
	舗装工 延長457.4m、面積1,609.7㎡		
	梶原三丁目6番先(市道047-000号線)舗装打換	48,557	39,819
	舗装工 延長374m、面積2,020.8㎡		
	大規模住宅団地内(今泉台、高野)表面処理工	13,739	7,735
	(高野22番地先)(市道205-166号線外)		
	舗装工延長130.9m、面積593.0㎡		
	七里ガ浜二丁目20番先(市道015-000号線)舗装工、階段補修工	31,471	0
	(翌年度への繰越明許費)		
	舗装工一式、歩道整備工一式、植栽帯工一式		
	鎌倉山四丁目12番先(市道055-000号線)舗装切削	27,731	23,174
	舗装工 延長328.1m、面積2,266.8㎡		
	舗装打換・排水整備等要望箇所	10,000	0
	深沢クリーンセンター隣接地法面防災工事	9,955	7,362
	法面工 落石防止網工面積180㎡		
19節	JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	22,631	15,098
<主な特定財源>			
	・国県支出金		3,357
	・地方債		115,800

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度から繰越明許費により、砂押川沿い歩道整備工事を行うものだったが、入札不調により実施できなかった。
- ・前年度から事故繰越しにより、市道209-081号線の道路改良整備工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,651	269,166	179,718		89,448
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
15節	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		200,651	179,718
	内訳			
	寺分418番地先(市道042-007号線)舗装打換		44,539	24,298
	舗装工 延長243.3m、面積1,877.5㎡			
	小袋谷二丁目22番先(市道213-023号線)舗装打換		10,549	0
	津西一丁目6番先(市道202-093号線)舗装打換		14,476	0
	寺分三丁目15番先(市道047-047号線)舗装打換		23,815	19,996
	舗装工 延長187.4m、面積1,070.0㎡			
	七里ガ浜東五丁目1番先外(市道013-088号線外)舗装打換		43,428	32,377
	舗装工 延長327.0m、面積2,402.4㎡			
	大船一丁目2番先(市道209-081号線)舗装打換		63,844	51,034
	舗装工 延長260.7m、面積1,601.9㎡			
	大船一丁目2番先(市道209-081号線)舗装打換		0	52,013
	(前年度からの事故繰越し)舗装工 面積3,225㎡			
	砂押川沿い歩道整備工事		0	0
	(前年度からの繰越明許費)			
<主な特定財源>				
	・国県支出金			49,000
	・地方債			109,400

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 橋りょうの機能保持のため調査点検を行った。
- ・ 劣化が著しい三橋の補修及び神戸橋の耐震補強工事を行い、安全な交通を確保した。
- ・ 魚町橋及び西泉水橋の修繕工事に必要となる設計業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
181,892	181,892	168,387		13,505
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	橋りょう維持修繕料		1,000	0
13節	橋りょう点検調査業務委託料		19,624	13,192
	橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料		5,013	4,574
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(魚町橋)		6,776	5,333
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(西泉水橋)		9,108	7,295
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費		140,371	137,993
	内訳			
	腰越三丁目1番先(神戸橋)耐震補強等		120,967	129,608
	長谷二丁目9番先(三橋)地覆等補修		19,404	8,385
<主な特定財源>				
	・国県支出金			26,207
	・地方債			85,400

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 下水道・河川
施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,490	1,490	1,474		16

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	河川維持管理協力団体報償費	240	225
11節	消耗品費	21	21
14節	浸水対策排水施設用地土地賃借料	1,229	1,228

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課(河川担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	35,824	28,583
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 4人	16,765	14,120
・ 3節 職員手当等	13,184	9,521
扶養手当	663	662
地域手当	2,615	2,217
通勤手当	494	377
超過勤務手当	2,111	425
休日給	38	27
期末勤勉手当	6,299	5,212
住居手当	664	301
児童手当	300	300
・ 4節 共済費	5,875	4,942
市町村職員共済組合負担金	5,791	4,858
雇用保険料	84	84

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 浸水被害解消に向け、大塚川から新川への分水用地測量業務、不動産鑑定評価業務、建物等補償調査業務を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、大塚川から新川への分水実施設計業務委託を行った。
- ・ 準用河川の浚渫を行った。
- ・ 準用河川の除草・枝払を行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
135,668	111,333	81,956		29,377
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	河川管理施設等維持修繕料		9,167	3,339
13節	準用河川浚渫業務委託料		3,056	5,610
	準用河川除草・枝払等業務委託料		0	13,404
	河川・雨水調整池施設調査業務委託料		29,249	18,700
	大塚川から新川への分水用地測量業務委託料		1,254	1,153
	大塚川から新川への分水用地不動産鑑定評価業務委託料		381	385
	大塚川から新川への分水用地建物等補償調査業務委託料		3,487	5,377
	大塚川から新川への分水実施設計業務委託料		0	33,907
	(前年度からの繰越明許費)			
15節	河川維持修繕工事請負費		14,993	0
	(内訳)			
	普通河川滑川(二階堂932番地1先)		14,993	0
17節	大塚川から新川への分水用地取得費		54,000	0
19節	神奈川県河川協会負担金		81	81
22節	大塚川から新川への分水用地建物等移転補償金		20,000	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

・雨水調整池の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,504	4,504	3,425		1,079
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,058
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	57
11節	消耗品費		110	110
	印刷製本費		17	0
	雨水調整池管理施設維持修繕料		479	264
	備品修繕料		55	0
13節	雨水調整池浚渫業務委託料		2,640	1,936

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎歴史環境 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,855	1,855	1,757		98
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,058
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	84
11節	消耗品費		250	247
	印刷製本費		115	99
	風致地区内標柱維持修繕料		252	234
19節	古都保存連絡協議会負担金		35	35
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			160

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,163	1,163	959		204
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 10人		306	216
	緑化推進専門委員報酬 1人		408	408
11節	消耗品費		116	104
	印刷製本費		63	49
19節	森林協会等負担金		270	182

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ申出がされた土地を、都市緑地法第17条に基づき緑地を買い入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
141,545	141,660	141,555		105
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料		1,334	1,230
17節	鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費		140,211	140,325
<主な特定財源>				
	・国庫支出金			77,000
	・地方債			56,700

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,224	7,224	4,906		2,318
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費		114	49
11節	消耗品費		31	30
13節	緑化啓発に関する業務委託料		4,100	4,000
	<委託業務内容>			
	○緑の学校の企画・運営等 (参加者数=36名 開催回数=10回(延252名))			
	○緑のレンジャー・ジュニアの企画・運営 (参加者数=35名 開催回数=10回(延258名))			
	○緑のレンジャー・シニアの企画・運営 (参加者数=17名 開催回数=11回(延113名))			
	○緑のレンジャー自主活動グループの支援・育成 (参加者数=70名 開催回数=22回(延383名))			
19節	第31回鎌倉市緑化まつり事業負担金		160	154
	まち並みのみどりの奨励事業補助金 (件数=9件 総延長80.7m)		1,538	523
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分) (件数=1件 総延長19.0m)		1,281	150

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・ 6分割している対象樹林地を、平成29年度から毎年度2地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・ 令和元年度は、八幡宮地区及び山ノ内・今泉地区の2地区で事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,482	26,482	22,097		4,385
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 樹林維持管理委託料			26,482	22,097

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 鎌倉市緑地保全事業推進要綱第3条に基づき、指定緑地内に標識を設置する業務を委託した。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣の所有者を支援するため、奨励金を交付した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,726	38,738	35,872		2,866
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		45	45
13節	確保緑地の適正整備委託料		3,000	2,560
	緑地保全契約標識設置委託料		134	84
19節	保存樹木奨励補助金		628	566
	61件 314本			
	保存樹林奨励補助金		12,858	12,493
	167件 2,366,971.38㎡			
	保存生け垣奨励補助金		876	692
	94件 8,382.18㎡			
	緑地保全契約奨励補助金		9,721	8,202
	118件 519,970.38㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金		700	912
	緑地保全基金利子積立金		64	3
	緑地保全基金寄附等積立金		6,700	10,315

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,547	22,747	22,131		616
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	風致保存会運営費補助金		10,347	10,347
25節	風致保存基金寄附等積立金		2,600	5,892
26節	風致保存会寄附金		2,600	5,892

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

緑地維持管理事業

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 台風第15号及び第19号に起因する倒木処理等について緊急対応を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、落石防止網設置等の防災工事を行った。
- ・ 前年度からの事故繰越しにより、落石防止網設置等の防災工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,058	209,957	112,760		97,197
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		7	0
	光熱水費		85	41
	管理施設維持修繕料		3,971	0
12節	電信料		49	40
	緑地に関する賠償補償保険等保険料		1,684	1,304
13節	緑地維持管理委託料		49,101	101,836
	常盤山緑地警備委託料		101	101
15節	緑地維持管理工事請負費		5,060	3,850
	緑地維持管理工事請負費(前年度からの繰越明許費)		0	2,853
	緑地維持管理工事請負費(前年度からの事故繰越し)		0	2,735

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観形成事業の推進

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 都市景観
 施策の方針 良好な都市景観形成事業の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 屋外広告物について、普及啓発を行うとともに、鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討を行った。
- ・ 景観上重要な建造物等の保存活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,200	31,372	31,084		288
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 景観審議会委員報酬 10人			306	208
8節 景観アドバイザー等報償費			119	85
11節 消耗品費			80	80
印刷製本費			411	408
光熱水費			0	20
12節 電信料			0	3
景観重要建築物等プレートと文英訳料			9	7
違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料			12	12
13節 旧村上邸警備委託料			0	40
旧村上邸庭園管理業務委託料			0	90
違反屋外広告物運搬処分業務委託料			37	0
行政刊行物販売委託料			24	6
景観重要建築物等調査委託料			315	315
若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン策定支援業務委託料			3,199	3,199
景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料			381	174
景観計画土地利用類型区分地図作成支援業務委託料			1,166	990
19節 景観重要建築物等助成金			4,500	5,244
景観形成協議会活動助成金			1	0
25節 旧村上邸貸家料			1,740	1,740
景観重要建造物等保全基金運用利子積立金			12	1
景観重要建造物等保全基金寄附等積立金			16,888	18,462
<主な特定財源>				
・国県支出金				1,066

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	448		20
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		30	28
	既存車止め等維持修繕料		158	150
12節	諸手続等手数料		5	0
13節	海岸の障害物処分等業務委託料		5	0
19節	サーフ90ライフセービング事業負担金		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画基本図及び都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行った。
- ・都市計画高度地区の都市計画変更を行った。
- ・人口減少や少子高齢化社会に対応し、持続可能なまちづくりを実現するため、コンパクトシティ形成に向けた取組みの一環として、立地適正化計画を令和元年度から令和3年度までの3か年で策定する。令和元年度は、都市構造の分析を行い、まちづくりの方針(案)を作成した。
- ・都市計画業務支援システム用機器の更新を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,517	51,517	44,716		6,801
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市計画審議会委員報酬 11人		396	296
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,036
8節	手話通訳者への報償		0	10
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	37
11節	消耗品費		321	321
	印刷製本費		3,667	3,336
13節	鎌倉市都市計画基本図修正等業務委託料		29,524	23,575
	鎌倉市都市計画関連データ設定及び都市計画関連データ等修正業務委託料		3,459	3,454
	都市計画業務支援システム保守業務委託料		454	451
	鎌倉都市計画高度地区都市計画変更図書作成業務委託料		2,464	2,222
	都市計画関連データ等修正業務委託料		847	847
	都市計画業務支援システム接続環境設定機器現調作業委託料		825	825
	立地適正化計画策定業務委託料		7,931	7,931
14節	都市計画業務支援システム用機器等賃借料		406	365
	説明会用会場使用料		10	0
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金		10	10
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,523

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

市街地整備運営事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 旧大船駅周辺整備事務所

意図 旧大船駅周辺整備事務所の維持管理を行うため。

効果 旧大船駅周辺整備事務所の適切な維持管理を行う。

【 事業の内容 】

・旧大船駅周辺整備事務所の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,618	4,518	2,260		2,258
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,029
9節	事務補助嘱託員費用弁償		146	104
11節	一般文具等消耗品費		407	280
	光熱水費		211	181
	設備等修繕料		2,549	428
12節	電信料		14	13
	消防設備点検手数料		9	8
	火災等保険料		10	7
13節	警備業務委託料		76	76
	清掃等業務委託料		126	125
14節	コピー機賃借料		11	9

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

【 市街地整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、権利者との調整及び関係機関等との協議を行った。
- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備工事を実施したが、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,827	52,384	18,983	30,907	2,494
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	技術アドバイザー謝礼	51	102	
11節	一般文具等消耗品費	26	15	
	陽画等印刷製本費	10	0	
12節	給水装置工事申請事務手数料	16	12	
13節	高額資材等価格調査業務委託料	139	31	
	鎌倉駅西口駅前広場周辺清掃業務委託料	202	202	
15節	鎌倉駅西口駅前広場整備工事請負費(翌年度への繰越明許費)	45,000	17,650	
22節	物件移設等補償金	3,383	971	
<主な特定財源>				
	・地方債			13,200

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・前年度からの繰越明許費により、深沢地域整備事業のまちづくりのテーマである「ウェルネス」の具現化を図るため、コンセプトの深掘りを行うとともに、民間企業へのヒアリング等を踏まえ、コンセプトに沿ったまちづくりの実現に向けた検討を行った。
- ・平成30年度に実施した深沢地区まちづくり方針実現化の検討結果を踏まえ、修正土地利用計画(案)の再点検結果に基づく事業フレームの調整検討については、工程の見直しを行うことにより、実施しなかった。交通管理者調整協議については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・土地地区画整理事業の専門家の支援を受け、権利者の相談窓口設置及び事業スキームに係る合意形成を図るとともに、事業推進に伴う関係機関協議等を行った。
- ・深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。
- ・藤沢市と共同で実施する、シンボル道路及びシンボル道路橋に係る概略設計業務等に対し、負担金を支払った。
- ・湘南地区整備連絡協議会の運営を行った。
- ・村岡新駅(仮称)設置協議会及び慶應義塾大学SFC研究所xSDGコンソーシアムに参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,808	67,211	54,232	10,373	2,606
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,036	
	深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会委員報酬 9人	316	258	
	深沢地域整備事業推進参与報酬 1人	0	1,350	
8節	技術アドバイザー謝礼	170	221	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	147	0	
11節	一般文具等消耗品費	418	412	
	陽画等印刷製本費	76	0	
	深沢地域整備事業用地維持修繕料	500	696	
13節	深沢地区まちづくり方針実現化検討業務委託料 (前年度からの繰越明許費)	0	11,232	
	深沢地区まちづくり方針実現化検討業務委託料	9,918	9,768	
	深沢地区事業フレーム調整検討業務委託料	8,030	0	
	深沢地区交通管理者調整協議資料作成業務委託料 (翌年度への繰越明許費)	10,387	0	
	深沢地区土地地区画整理事業支援業務委託料	22,759	22,000	
	深沢地域整備事業用地管理業務委託料	2,720	2,326	

19節	<u>深沢地域整備事業シンボル道路橋概略設計等負担金</u>	5,384	4,563
	湘南地区整備連絡協議会負担金	100	0
	村岡新駅(仮称)設置協議会負担金	500	40
	<u>慶應義塾大学SFC研究所xSDGコンソーシアム負担金</u>	324	330
<主な特定財源>			
	・国県支出金		2,281

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき指導や助言等を行うとともに、必要に応じて支援を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の未接続箇所への下水道管の整備に向けた検討を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
505	605	221		384
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	技術アドバイザー等謝礼		150	24
11節	一般文具等消耗品費		55	0
	陽画等印刷製本費		30	0
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料		270	97
19節	鎌倉市制80周年記念 ～Re-BEAT大船～ への負担金		0	100

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅西口整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 歩行者と車両分離による安全性の確保などにより、大船駅西口周辺の交通環境などの改善を図るため。

効果 大船駅西口の周辺交通環境などの改善により、市民等の安全性と利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・ 横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)及び都市計画道路阿久和鎌倉線整備の取扱いについて、関係機関と協議を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		5	0
	陽画等印刷製本費		5	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金 【 市街地整備課 】

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,490	9,526	9,526		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
28節	繰出金	12,490	9,526

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通環境整備事業

【 交通政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,743	3,798	3,508		290
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		840	840
	印刷製本費		383	383
	パークアンドライド案内看板維持修繕料		103	0
13節	交通量調査業務委託料		2,211	2,079
19節	三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金		206	206

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通体系整備事業

【 交通政策課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 歩行者尊重道路の小町大路について、車両の速度抑制策の検討を進めた。なお、鎌倉市交通計画検討委員会の開催等の業務を年度内に完了することが困難であるため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けて、鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会(国の行政機関等で構成)を開催し、技術的側面や法的側面の条件整理を行った。また、国に対し、(仮称)鎌倉ロードプライシングの早期実現を目指したより一層の制度的・技術的支援、並びに短期的な渋滞対策に関する技術的支援についての要望書を提出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,720	8,505	120	4,400	3,985
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	交通計画検討委員会委員報酬	378	0	
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬 4人	230	42	
8節	交通政策専門員等報償費	538	34	
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償	13	0	
11節	消耗品費	100	0	
	印刷製本費	390	44	
13節	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料(翌年度への事故繰越し)	5,577	0	
	交通需要管理検討業務委託料	6,699	0	
	(仮称)鎌倉ロードプライシング関連調査業務委託料	10,461	0	
	啓発パネル等作成業務委託料	260	0	
	歩行者尊重道路安全対策設備設置等業務委託料	1,012	0	
14節	シンポジウム会場等使用料	62	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

鎌倉駅東口駅前広場整備事業 【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・鎌倉駅東口駅前広場の整備工事を行い、継続費年割分は前年度からの繰越分を含め、全額を翌年度へ通次繰越した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
276,520	431,987	7,785	418,987	5,215
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	鎌倉駅東口駅前広場整備工事(土木)監理等業務委託料 (継続事業・令和元年度分 前年度からの通次繰越含む)		11,397	0
	鎌倉駅東口駅前広場整備工事(建築)監理等業務委託料 (継続事業・令和元年度分 前年度からの通次繰越含む)		2,583	0
	鎌倉駅東口駅前広場試掘調査業務委託料		0	500
15節	鎌倉駅東口駅前広場整備工事請負費 (継続事業・令和元年度分 前年度からの通次繰越含む)		249,540	0
22節	物件移転等補償金		13,000	7,285

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,283	1,283	1,204		79
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,037
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	90
11節	消耗品費		23	23
14節	会場使用料		3	0
19節	関東国道協会等負担金		54	54

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26	26	26		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 一般文具等消耗品費			26	26

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に参加し、その活動を通し都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に参加し、政府・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85	85	85		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金		82	82
	無電柱化を推進する市区町村長の会負担金		3	3

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,391	32,391	22,273		10,118
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,350	1,223
11節	消耗品費		400	261
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		982	981
	街路樹維持管理委託料		24,659	19,808

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共創計画部交通政策課

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち深沢地域整備課・駅周辺整備課(駅周辺整備担当)・都市計画課

都市景観部のうち都市景観課・みどり課

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	540,339	499,803
・ 2節 給料 一般職	242,567	217,521
一般職職員 59人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	206,761	197,836
扶養手当	8,381	9,105
地域手当	39,391	35,687
通勤手当	7,668	5,877
超過勤務手当	13,617	19,113
休日給	101	214
管理職手当	11,646	11,286
期末勤勉手当	110,664	102,884
住居手当	11,358	8,915
管理職員特別勤務手当	0	130
児童手当	3,935	4,625
・ 4節 共済費	91,011	84,446
市町村職員共済組合負担金	89,592	83,562
社会保険料	1,276	785
雇用保険料	143	99

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

・下水道事業会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,518,159	2,540,832	2,540,832		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額	支出済額
2,518,159	2,540,832

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園運営事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市公園行政に関する最新の動向等について、情報収集や他自治体との意見交換、国県に対する要望活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100	100	100		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 日本公園緑地協会等負担金			100	100

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園維持管理事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託し管理した。
- ・ 台風第15号及び第19号に起因する倒木処理、設備復旧等について緊急対応を行った。
- ・ 公園施設長寿命化計画により、計画的な補修更新等の維持管理を実施するとともに、地域の特性や市民ニーズに対応した公園の維持管理や整備を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、源氏山公園第一公衆トイレ改築工事を完了した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
370,895	585,229	556,475		28,754
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		557	349
	維持修繕料		15,092	88,698
12節	ボランティア保険料		15	15
13節	都市公園(笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く)指定管理料		215,557	215,557
	都市公園(笛田公園)指定管理料		24,606	23,849
	鎌倉広町緑地指定管理料		27,604	27,600
	児童遊園等管理委託料		10,130	10,130
	公園維持管理委託料		1,518	83,718
	公園施設設置委託料		5,000	3,960
	岩瀬下関防災公園防球ネット等設置委託料		7,564	6,820
	源氏山公園仮設トイレ撤去委託料		0	149
	境界点復元等業務委託料(鎌倉中央公園)		0	120
	源氏山公園第一公衆トイレ改築事業監理業務委託料 (前年度からの繰越明許費)		0	2,052
14節	源氏山公園用地賃借料		1,000	1,000
	児童遊園等土地賃借料		13,111	13,081
	笛田公園用地、緩衝緑地土地賃借料		4,770	4,800
	梶原六本松公園土地賃借料		3,594	3,594
	源氏山公園仮設トイレ使用料		0	18
	源氏山公園仮設トイレ使用料(前年度からの繰越明許費)		0	206
15節	源氏山公園スロープ改修工事		7,062	9,593
	笛田公園防球ネット等工事		33,715	27,412
	源氏山公園第一公衆トイレ改築工事(前年度からの繰越明許費)		0	32,948
18節	笛田公園スコアボード		0	209

22節 賠償金

0

597

<主な特定財源>

・地方債

25,700

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園整備事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・(仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地の供用開始に向けて、整備工事を行った。
- ・山ノ内東瓜ヶ谷緑地における既存ブロック塀撤去工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、(仮称)山崎・台峯緑地の施設整備工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、(仮称)浄明寺五丁目広場整備工事を行った。
- ・前年度からの事故繰越しにより、(仮称)山崎・台峯緑地の施設整備工事を行った。
- ・台風第15号及び第19号に起因する倒木処理等について緊急対応を行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地北管理事務所については、建築敷地を変更する必要性が生じ、令和元年度に整備工事を行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
141,735	190,319	158,515		31,804
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		765	718
	光熱水費		358	52
12節	電信料		123	0
	ボランティア活動保険料		10	0
13節	都市公園等整備事業用地樹林管理業務等委託料		6,296	21,773
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)建築(その3~5)設計等業務委託料		10,912	3,630
	(仮称)山崎・台峯緑地建築物(その2)工事監理業務委託料		4,041	0
	(仮称)山崎・台峯緑地管理事務所警備委託料		183	84
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備(建築)工事監理業務委託料 (前年度からの事故繰越し)		0	2,700
15節	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備(建築その2)工事請負費		53,212	0
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備(土木)工事請負費		47,664	24,750
	山ノ内東瓜ヶ谷緑地改修(ブロック塀撤去)工事請負費		17,226	10,662
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備(土木)工事請負費 (前年度からの繰越明許費)		0	18,519
	(仮称)浄明寺五丁目広場整備工事請負費 (前年度からの繰越明許費)		0	26,876
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備(建築)工事請負費 (前年度からの事故繰越し)		0	48,751
19節	(仮称)山崎・台峯緑地水道加入金		945	0
	(仮称)浄明寺五丁目広場水道加入金(前年度からの繰越明許費)		0	0

<主な特定財源>

- ・国県支出金
- ・地方債

23,500

67,600

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園用地取得事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・(仮称)山崎・台峯緑地用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。
- ・(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地の取得については、都市計画決定の手続きに時間を要したため、次年度以降に取り組むこととした。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
163,017	133,252	133,036		216
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		122	89
	印刷製本費		200	0
13節	(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料		3,681	484
	(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料		677	0
17節	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)用地購入費		120,586	19,368
	(仮称)山崎・台峯緑地(保全)用地購入費		2,513	113,095
	(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地購入費		35,238	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			44,000
	・地方債			79,200

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

市営住宅管理運営事業

住宅課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借上住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,668	147,307	143,670		3,637
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅入居者選考委員会委員報酬 5人		126	52
11節	消耗品費		72	47
	印刷製本費		18	16
	市営住宅各種修繕料		2,640	2,377
13節	公営住宅管理システム保守点検業務委託料		736	736
	市営住宅等指定管理料		39,866	39,865
	福祉型借上住宅建物不動産鑑定評価業務委託料		275	0
	市営住宅高所低木等剪定委託料		605	175
	市営住宅火災警報器交換業務委託料		9,940	6,527
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料		706	699
	福祉型借上市営住宅賃借料		93,761	91,484
19節	神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金		2	2
	市営住宅管理費等負担金		1,920	1,690
22節	過少収納時補てん金		1	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,523

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

住宅政策推進事業

住宅課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
421	421	285		136
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	住宅政策アドバイザー報償費		135	0
13節	居住支援業務委託料		286	285
<主な特定財源>				
・国県支出金				128

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

空き家等対策推進事業

住宅課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・ 鎌倉市空家等対策計画に基づき、具体的な施策の構築を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,269	1,269	963		306
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	空家等対策協議会委員報酬		224	0
11節	消耗品費		69	54
	印刷製本費		322	255
14節	空き家管理システム使用料		654	654

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

市営住宅集約化事業

【

住宅課

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

・老朽化した市営住宅の集約化を行うため、課題の整理・検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,172	8,172	4,491		3,681
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅集約化事業事業者選定委員会委員報酬 5人		208	42
11節	消耗品費		32	31
13節	市営住宅集約化事業アドバイザー業務委託料		5,995	3,828
	植木住宅用地測量業務委託料		881	590
22節	市営住宅入居者移転補償費		1,056	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			38

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部住宅課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	50,749	38,041
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 5人	22,511	17,054
・ 3節 職員手当等	19,930	14,635
扶養手当	362	463
地域手当	3,539	2,775
通勤手当	837	341
超過勤務手当	1,470	401
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	10,113	8,281
住居手当	2,262	978
管理職員特別勤務手当	0	25
児童手当	360	385
・ 4節 共済費	8,308	6,352
市町村職員共済組合負担金		